

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

2015年7月号《No1》

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002 東京都国立市東1-20-102

TEL 042-577-6181/FAX 042-577-5574

今月の聖句

わたしはまことのぶどうの木、あなたはその枝である。人がわたしにつながっておりわたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。

ヨハネによる福音書15章1節_5節

主題

国際会長	Wichian Boonmapajorn	「信念のあるミッション」
アジア地区会長	Edward K. W. Ong	「愛をもって奉仕をしよう」
東日本区理事	渡邊 隆	「原点に立って、未来へステップ」
あずさ部長	標 克明	「ワイズメンとして一歩前進」
武蔵野多摩会長	宮内 友弥	「共に学びあい、活かされる社会を目指して」

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAにつくそう
1. 世界的視野を持って国際親善をはかろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさたろう
1. 出席第一と奉仕第一とを旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

6月の出席率91% 在籍者11名 出席者10名 メネット1名 にこにこ20000円

2015-2016年度スタートにあたって

2015-2016 会長 宮内 友弥

昨年度の7月号ブリテンを見てみると「やれる事は何でもトライしたいと思います。その手始めとして卓話者候補の拡充、ゲストを飽きさせない第1例会のあり方の検討やクラブホームページの立ち上げ、

西東京センターに関わる方達への働きかけ等を推進したいと思います。全ては魅力あるクラブ作りのため、自信を持って新入会員勧誘に励める体制作りのためにメンバー全員の皆様の叡智を集約して前進するのみです。」と二度目となる会長の抱負を投稿しています。

あれから1年、あっという間の1年でしたが、振り返ってみますとモンゴルに始まりモンゴルに終わった感があり、会長としてやるべき他の事が疎かになっていたのではとの反省が頭をよぎりました。その思いから、6月例会はクラブメンバー全員で「1年間を振り返り、次年度に向けての展望」をじっくり時間をかけて本音で語り合う場としました。会を始めるにあたりどう進めていくかあれこれ考えていましたが、これは全くの杞憂で活発な前向きな意見が次々に飛び出し「魅力あるクラブ作り」「会員をいかに増やすか」に議論が自然と集約していきました。まさに期初に掲げたクラブの目標であり全員がクラブへの思いを共有している事が確認できた場となりました。今後もこのような場を設けて意見交換することが必要であると実感すると同時に、その熱い思いを実践の場で一人一人が主役となりアクションを起こし全員の協力の下、クラブを盛り上げていく事こそがクラブ活性化の第一歩と確信します。

6月例会の様子

日 時 6月10日19時 場 所 西東京センター
司 会 野尻ワイズ 聖書・祈祷 伊佐メネット 受付 松田ワイズ
メンバー全員での今年度の総括と次年度に向かつての方針話し合い

前半1時間は報告と進捗状況と連絡事項。7月30日モンゴルクラブとの交流会、8月3日夜東京での歓迎会。AYC 招聘。モンゴルツアー。原村例会7月25・26日。YM夏祭り8月29日。西東京センター報告。イレギュラー例会の確認7月1日6月第二例会後従来に戻る。7月25・26日原村例会を8月第1例会に振り替え。井口元Y総主事の近況。など話し合後今月のテーマに入った。

宮内会長「一年が過ぎさらにもう一年やることに成りましたが、皆さん楽しいワイズメンズクラブだったかどうかだったか、きたん無く話し合い、来期の活動はこんなことをという提案など話し合って来期の少しでも良い活動に繋いで行きたいと思います、基本的には楽しくなければと思います。

一方、区でも会員が減り続けるのはクラブの魅力がないからではないか、部の権限を強め部の機能活性化を図らねばならないのでは等話し合われています。

*入会して欲しいという人をひっぱって来ているのですが今ひとつフィット感が無いのか人の選び方が旨くない、それはなぜか私の課題です。

*会員増強の掛け声は何年来続いていますもう遅すぎる、多くのメンバーは年金生活が長く生活エリアも狭くなっています、このままでは衰退の道が見えています。

どうすればよいか、力不足ならば他クラブと協力して活動する。地域に貢献する活動によりワイズの知名度魅力度を上げることで本来の目的に連鎖するのではないかと考えました。

考えているだけでは何も変わらない先ず自分が動かねばと地味にこつこつ具体的な地慣らし、さあ！メンバーに声掛けをとというとき音を立ててくずれ、初めて自分の体力の衰えを感じました。

同じ事をしていては同じ結果しかない、発想の転換の模索をしています。

何をどうしたかブリテンに書いたのでご存知の由井中学吹奏楽団として発足し19年の八王子ウインドオーケストラというのがあり吹奏楽はもちろんポップス・ジャズまで広いレパートリーと音楽の融合

クラブ回り持ち主催のチャリティージャズコンサートでスタートし地域の恒例の音楽会に、ひいては

親しくなった若い楽員をワイズメンバーにと思った。一昨年原村例会に参加したお隣のクラブ小口さんにもちかけ幾人かは実際音楽会で納得と賛意を得た、コンサートディレクターとも親しくなるなど時間をかけてじわりじわり根回しを進めてきたがお隣のクラブにはお隣のクラブの諸事情があり頓挫してしまいました。「アイデアを！」

- * オケの参加するメリットは？ クラブ所在地に新しい根ずきと発表の場の拡充。
- * 国立の人に来てもらいたい誘うだけのスピーチが無い、イベントが無い、皆が共通に悩んだり聴きたいと思うテーマがないとYMCAやY sの手前味噌だけでは・・・それと地域共通の話を聴くなど身近なものに結びつかないと・・・
- * 入り口としてバーベキュー大会や納涼大会は・・・まさにそれをやったのがベイサイドクラブ・・・それもいいけど国立市民はそれだけでは収まらない・・・
- * ターゲットを絞る年齢的には私と同じ60歳台少し暇が出来て心に隙間が出来た人・・・それと俺は何をやったという名誉欲の強い人 ボランティアをやりたいが何をやっていいか分からない人に手を貸してと引っ張ってくる。
- * 西東京センターでは色々な大学にあって、活動の説明をして日曜日はその体験が出来るよと誘い興味を持った学生が来る。先ず体験をしてもらって、そこから始まる・・・「この間かわいい子が来て丁寧に説明してたね」。「今日幼児の活動で来ています」「すごい・・・」
- * 市の広報に載せては・・・イントロガ必要ということですね・・・たとえばボイストレーニングとか・・・たまたま30年来の会社時代の同期で最後はガテマラに駐在しリタイヤ後ガテラマ文化協会ボランティアをしている友人に出会ってワイズの話をした。手始めに9月の例会で「ガテマラとマリンバ」(マリンバはガテマラで進化した楽器の由)をテーマに卓話を引き受けてくれた。色々楽器を持ってきてくれると思います。・・・いいですね・・・九月の卓話は決まり・・・
- * リーダーOBがなぜYMにもY sにも寄りつかないかが問題になっているが・・・私はたまたまりーダーからYM職員になったがOBはその時完結し燃え尽きている。当時リーダー達はボランティアといわれることを嫌がった、ボランティアは人のためとの響きがあるがYMCAでの活動は子供のためであるが実は自分の人としての成長のための活動でありそれを越える感激は測り知れない感覚を持っていると思う。
- * 桜フェスティバル・リーダー感謝会・家族クリスマスに関わっているがクラブ・Y・家族から選出した*委員会を作り時間をかけて準備するようになれば密なつながりと理解を深めメンバー増強に・・・
- * 今深く反省していることはモンゴル問題で一人突っ走りすぎたのか山本さんからネパールの地震支援をクラブでは支援しないのかと言われたときY sでも同盟経由でしているしと皆に諮ることを怠ってしまい一致と盛り上がり忘れていたことです、Y sの基本にもどるです。ようするに夫々自分の役割をおろそかにせず果たそうと言うことですね！それはY sと他との決定的違い仰せつかるといことが無いこと、禁句ですね、自分が義とすることをすることですね。
- * 若者たちと会話をしようこっちから質問すると話は弾みます、その中にヒントが転がっています。来年度のユース事業主任の浅羽さんのテーマは「もっと若者に歩みよう」呼ぶのではなくY sから・・・まさにそうです。
- * 私本年度めっちゃくちゃに忙しくて例会参加がほとんど出来なかったが、その間に会長は今までやった事の無いことをがむしゃらにがんばり、その結果武蔵多摩クラブの存在価値を知らしめられました。着地点を見極める目と行動力に敬意の念を感じます。
- * こんなに話し合ったのは始めて前期・後期二回やりましょう、きっとクラブは活気と充実しますね。

<西東京 YMCA 便り>

村山 達哉

7月となりましたが、不安定な天気が続いております。みなさまいかがお過ごしでしょうか。

去る5月23日には、東京YMCA会員大会が東陽町センターにて開催されましたが、その中でユースボランティアオブザイヤーの表彰がありました。西東京センターからは、Smileの活動やキャンプ等で大いに活躍してくれた池谷悠太郎さんが受賞されました。毎年、このように活躍してくれるボランティアリーダーを輩出できることを誇りに思っております。今後の活躍にも期待しています。

さて、西東京センターでは現在、夏のプログラムに向けての準備が本格的に進んでおり、それぞれのプログラムに向けたミーティングや、座学トレーニングが行われています。この夏も、知的障がい児・者や発達障がい児のためのキャンプ、日帰りキャンプなど、多くのプログラムが実施されます。キャンプを楽しみにしている子どもたちや参加者にとって、生涯に残るような忘れられない体験のできるような機会をたくさん提供できるように、リーダーたちと一丸となり準備していきたいと思っております。

<西東京センター及び東京YMCAの主な予定>

- 7/5 知的障がい児・者 余暇活動「あおぞら・つばさの会」7月例会
知的障がい児・者 余暇活動「シャベルズ・いづみの会」7月例会
- 7/6 西東京センター座学リーダートレーニング（キャンプの安全）
- 7/11 山中ビレッジトーテムキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)
ワイルドフラワーキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)
野尻ユースキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)
- 7/12 発達障がい児 グループ活動「Smile」7月例会
幼児野外活動「にこにこ」7月例会
小学生野外活動「ロビンソン」7月例会
- 7/19 戸隠ネイチャーアドベンチャーキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)
あおぞら・つばさキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)
シャベルズ・かめの子キャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)
- 7/24-26 わんぱくキッズ（引率：中元）
- 7/25 道志グリーンキャンプ打ち合わせ会(顔合わせ会)
- 7/25-27 山中ビレッジトーテムキャンプ(引率：村山、廣瀬)
- 7/30-8/3 野尻ユースキャンプ（引率：鳩山）

<お知らせ>

今回のアジア大会にモンゴル・ウランバートルクラブから2名AYCに招聘したユース1名が大会後3日間東京に滞在します。彼らの歓迎会を8月3日に予定しています。詳細は別途ドットコムを通じてご案内します。

7月のハッピーバースデー 石丸ワイズ (7・1) 笠利メネット(7.11) 清水メネット(7・22)
松田ワイズ (1937・7・24) 松田メネット (7・15)

7月例会 7月8日19時 YMCA西東京センター

卓話 高齢者の健康づくり 介護予防について 学芸大 名誉教授 波多野 芳郎氏
司会 山口ワイズ 聖書祈祷 伊佐ワイズ 受付 渡邊・松田ワイズ